

令和7年度 薬科学専攻博士課程前期課程入学試験(二次募集)問題
英語② 出題の意図

この問題の出題意図は、文脈の中で以下の能力を測ろうとする点にある。つまり、科学史的事実を述べた英文を、単なる直訳作業だけではなく、「科学的思考の展開として理解し、それを学術的日本語で表現できるか」を測るものである

「科学的概念の形成過程の理解」

観察 → 測定技術の開発 → 一般化(原子固有の性質) → 新概念の命名 → 実証と応用、という科学的発見のプロセスを、文章の流れとして正確に把握できるか。

「専門的・抽象的表現の処理能力」

inherent, spontaneous, fractionating, constituent, orders of magnitude, solidified など、薬学系や理工系の学術英語に特有の語彙・比喩的表現を、意味を崩さず日本語化できるか。

「比較・推論を含む記述の読解」

予想よりもはるかに強い放射能 → 未知の高放射性元素の存在を疑う、「という推論関係を読み取れるかどうか、すなわち(c)の論理的飛躍を適切に表現できるか。

「前後文脈を踏まえた和文構成力」

冒頭の“While…”による対比構文や、(e)における not only … but also … の評価的まとめを、日本語として自然に再構成できるか。